

世界バイオ医薬株式ファンド

愛称

世界
の薬



ご購入の際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■ お申し込み・目論見書のご請求は



商号等：キャピタル・パートナーズ証券会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第62号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■ 設定・運用は



商号等：キャピタル アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第383号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

QRコード



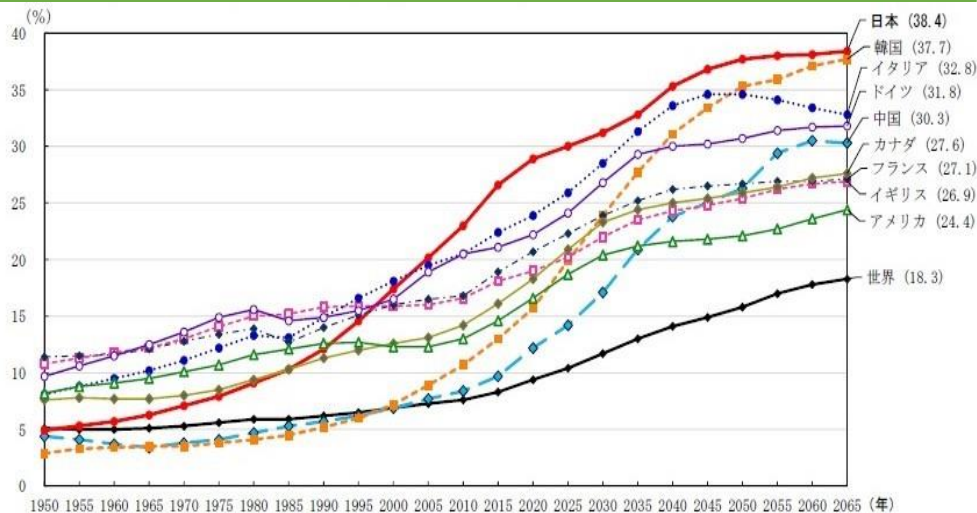
当社 HP

「バイオ医薬」に注目(1)



- mRNA（メッセンジャーRNA）技術はさらなる発展：新型コロナ（COVID-19）のワクチンが迅速に製品化され世界を救いました。
- 高齢者人口の増加：世界的に65歳以上の比率はこれからも上昇が見込まれます。
- 高齢者に多い疾病：関節炎、糖尿病、アルツハイマー型認知症などの治療にもバイオ医薬品が使われます。
- 高齢化に伴うヘルスケア需要の増大：人生100年時代、高齢者の医療支出増加が見込まれます。
- 新興国の人口増加：アジアやアフリカなどの人口増加に伴う医療ニーズの拡大が見込まれます。
- 肥満症治療薬へのニーズ：世界の人口の4割が過体重・肥満、さらに増加傾向にあります。
- 高まる健康意識：QOL（生活の質）を求める医療需要、健康寿命を延ばすニーズへの期待が高まります。
- 所得水準の向上：世界各国で高い医療水準が求められる時代に突入しています。

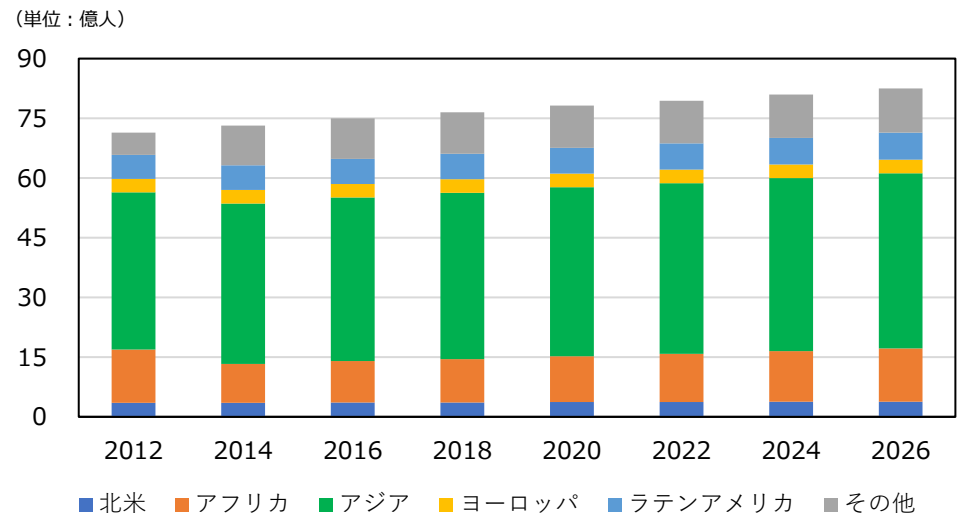
主要国における高齢者人口割合の推移（1950年～2065年）



資料：日本の値は、2015年までは「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」。他国は、World Population Prospects: The 2017 Revision (United Nations)
注) 日本は、各年10月1日、他国は、各年7月1日

出所：総務省統計局

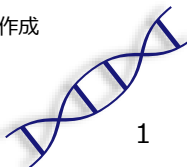
世界人口予測



出所：世界銀行のデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。



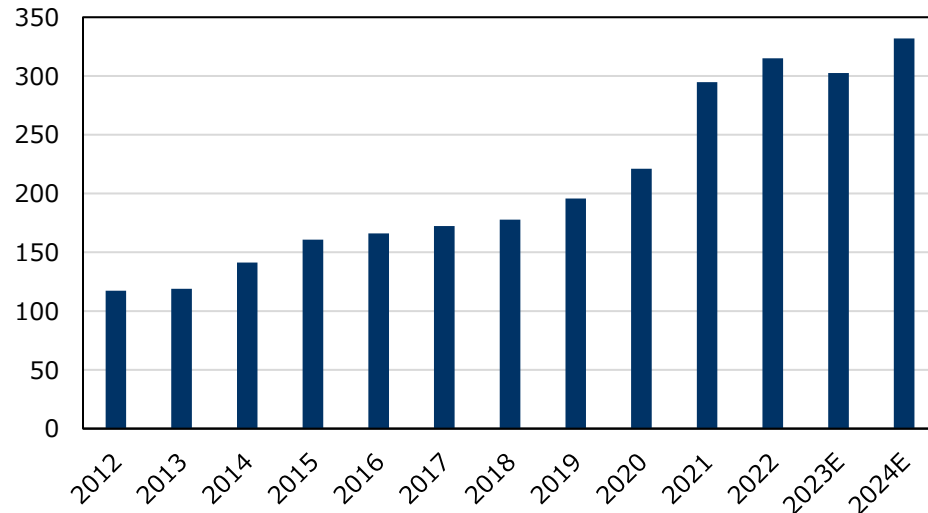
「バイオ医薬」に注目(2)



- バイオ医薬関連企業の売上は今後も順調に成長することが見込まれます。
- 新型コロナワクチンの一翼を担ったファイザーの2021年財務報告書によると、2021年には30億回分以上のワクチンを製造し、ファイザーとビオンテックは2022年末までに合計で約40億回分のワクチンを製造するとしていました。
- 現在は新型コロナウイルスは落ち着いている状況ですが、新型コロナワクチン以外のバイオ医薬品に対する期待は根強く、新薬への研究開発が続くなかで売上は引き続き伸びることが期待されます。

バイオ医薬関連企業の売上高推移

(単位：10億米ドル)

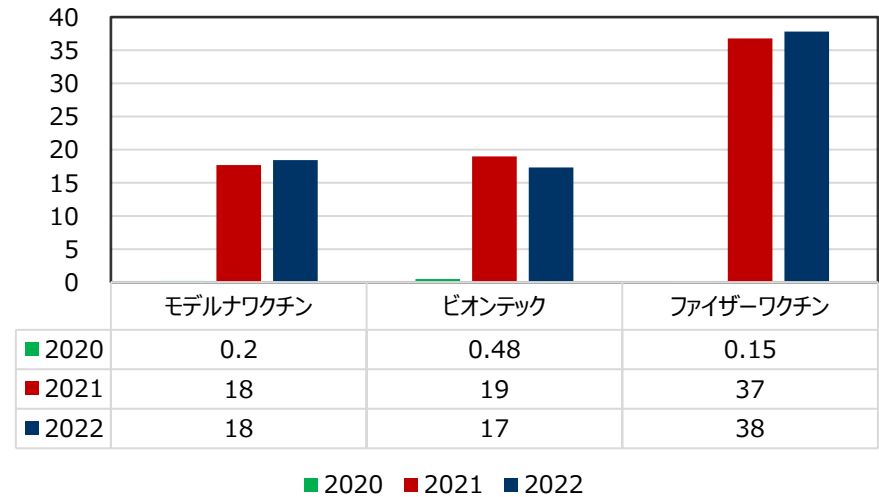


出所：Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成、2023年4月

※ バイオ医薬関連企業：ナスダック・バイオテクノロジー指数構成銘柄

代表的な新型コロナワクチンの売上高

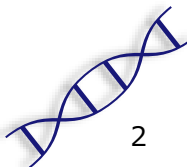
(単位：10億米ドル)



出所：各社の財務報告書のデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。



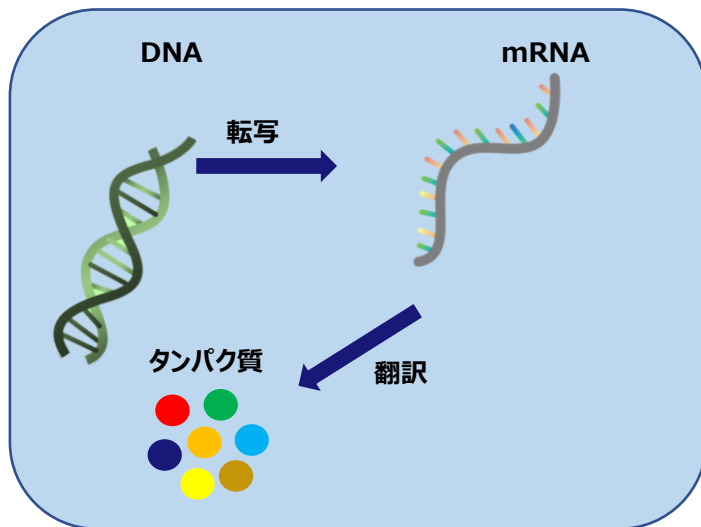
新型コロナウイルスワクチンで注目されたmRNAは応用範囲が広い



DNAが持つ遺伝情報（塩基配列）がコピーされる過程「転写」を経てmRNA*1は作られます。その後、mRNAは細胞核の外側の細胞質へと移動します。一方、tRNA*2はアミノ酸を識別してmRNAの所定の位置に届けます。次に、リボソームという細胞小器官において、tRNAが運ぶアミノ酸がmRNAの情報に基づき並んでアミノ酸が結合する過程「翻訳」を経てタンパク質が合成されます。

mRNAには、医学やバイオテクノロジー分野において、様々な応用があります。

タンパク質合成プロセスにおけるmRNAの役割



*1 mRNA（メッセンジャーRNA）：DNAが持つ遺伝情報をコピー（図の「転写」のこと）して作られたもの（リボ核酸）で、この配列をもとにアミノ酸を連結していく過程（図の「翻訳」のこと）を経てタンパク質が合成されます。

*2 tRNA（トランスファーRNA）：mRNAの遺伝情報からタンパク質が合成される「翻訳」過程の中で、アミノ酸を運搬する役割を担っています。mRNA上の遺伝情報に対応するアミノ酸を運搬してきて連結させます。

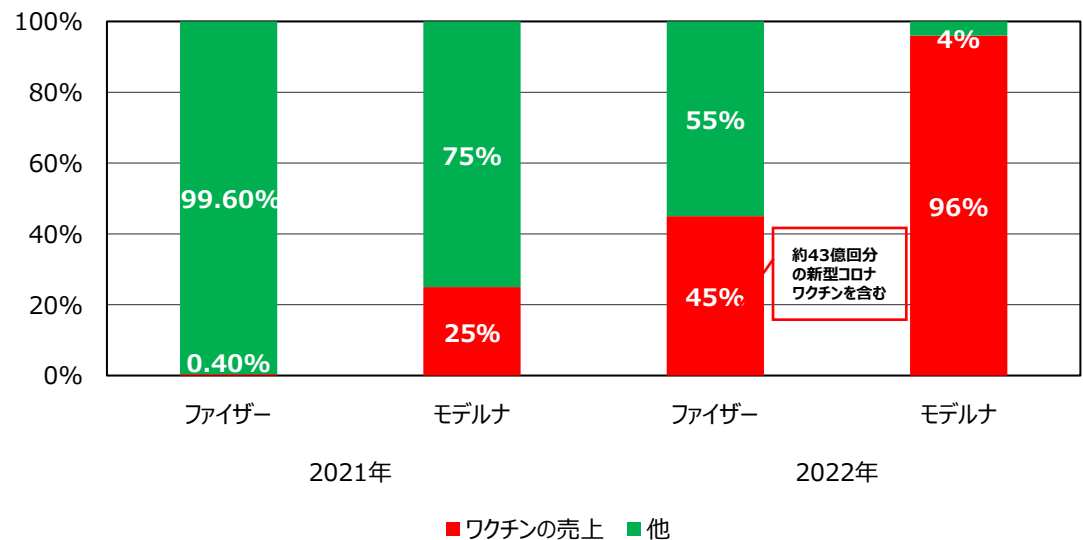
*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

mRNAワクチン：mRNAを利用したワクチンは、近年新型コロナ（COVID-19）および同変異株のワクチンとして開発され、大きな注目を集めました。mRNAワクチンは、遺伝子情報を含むmRNAを体内に投与することで、自己免疫系を活性化させ、病原体に対する免疫を獲得させるワクチンです。汎用性がある技術であり、インフルエンザワクチンへの対応も進んでいます。

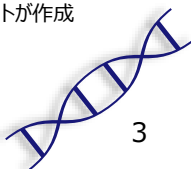
mRNAワクチンの例



ファイザー社とモデルナ社におけるワクチン売上割合は2021年から2022年にかけて、大きく変化しています。今後もmRNA技術を活用して、新規バイオ医薬品が開発される可能性があります。



出所：各社の財務報告書のデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成



がん治療の分野における飛躍的な進展をもたらすバイオ医薬(1)



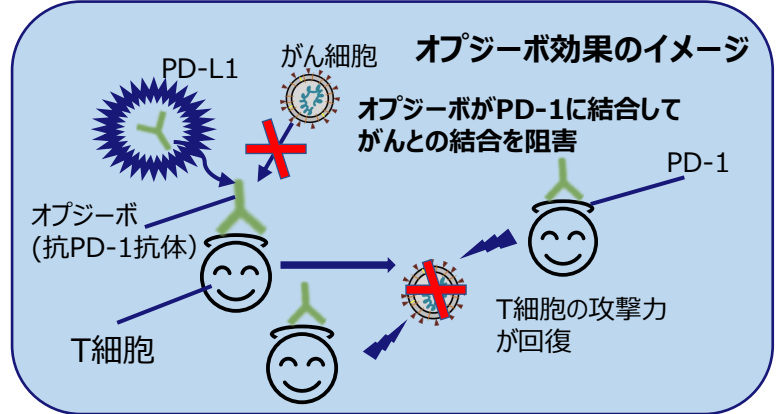
- ①外科的療法
- ②放射線療法
- ③化学療法（低分子医薬品）

従来の3つの療法に加えて、新しいバイオ医薬技術により治癒例が増えています。



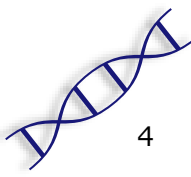
抗体医薬や分子標的薬を用いた療法：
がん細胞だけを狙い撃ちするため、正常細胞へのダメージが小さい治療法です。
がん細胞だけに発現する特定物質（表面抗原）に結合し、がん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞を殺傷したりします。
（例）HER2に対する標的薬 トラスツズマブ 商品名：ハーセプチン（ジェネンテックとロシュ）

免疫療法：
ヒトの免疫力によってがんを治そうとする治療法。
（例）免疫チェックポイント阻害薬 ニボルマブ 商品名：オプジーボ（小野薬品とプリストル・マイヤーズ スクイブ）
イピリムマブ 商品名：ヤーボイ（プリストル・マイヤーズ スクイブ）
キメラ抗原受容体T細胞（CAR-T）療法 チサゲンレクルユーセル 商品名：キムリア（ノバルティス）



○ PD-1：T細胞（がん細胞を攻撃できる免疫細胞）の表面にあるチェックポイント受容体のこと。ここにPD-L1（がん細胞の表面に発現）が結合すると、免疫作用のブレーキがかかる
Y 抗PD-1抗体：PD-1に結合することで、T細胞にブレーキがかかるのを防ぎ、攻撃力を維持させる働きがある

個別銘柄コード
ジェネンテック：現在はロシュ(RHHBY)の傘下
小野薬品 (4528)
プリストル・マイヤーズ スクイブ (BMY)
ノバルティス (NVS)



がん治療の分野における飛躍的な進展をもたらすバイオ医薬(2)



抗体薬物複合体 (Antibody Drug Conjugate : ADC) : 抗体医薬と化学療法薬を結び付けたものです。がん細胞を標的にする抗体医薬ががん細胞に結合する性質を利用してがん細胞に化学療法薬を運び、化学療法薬ががん細胞を攻撃します。ADCの世界市場は、抗がん剤全体の成長率を上回ることが見込まれます。

例) HER2に対する抗体薬物複合体 トラスツズマブデルクステカン 商品名: エンハーツ (第一三共とアストラゼネカ)

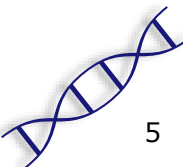
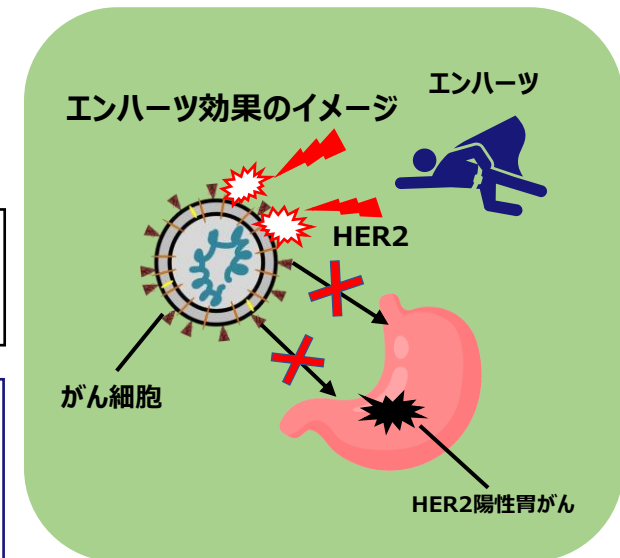
ADCはがん細胞に選択的に結合する抗体にがん細胞を特異的に攻撃する薬物を合わせたもので、抗体医薬と化学療法薬のそれぞれの長所を併せ持つ構造の薬剤です。

個別銘柄コード
第一三共 (4568)
アストラゼネカ (AZN)

ウイルス療法 : がん細胞だけで増殖し、正常細胞では増殖しないように遺伝子を改変したウイルスを用いた療法。ウイルスが増殖しながらがん細胞を破壊し、増えたウイルスが周囲に拡がり別のがん細胞を破壊していきます。免疫療法と併用して高い効果が期待されます。2021年に脳腫瘍の1つである悪性神経膠腫への治療が日本国内で承認されましたが、他の固形がんへの適応の拡がりが見込まれます。

仕組み : ① 遺伝子組み換えのウイルスを投与 ② がん細胞のみに感染して細胞を破壊
③ 次のがん細胞に感染 ④ 体内の免疫を刺激して効果が長時間持続

mRNAの技術 : ターゲットとする遺伝子配列がそのままmRNA医薬の候補になります。がん抗原や新たな感染症病原体などへのワクチンや医薬候補を創製しやすいという意味で汎用性や拡がりのある技術といえます。新型コロナウイルス変異株に対応したワクチンが迅速に実用化されたのもこの特徴のためです。

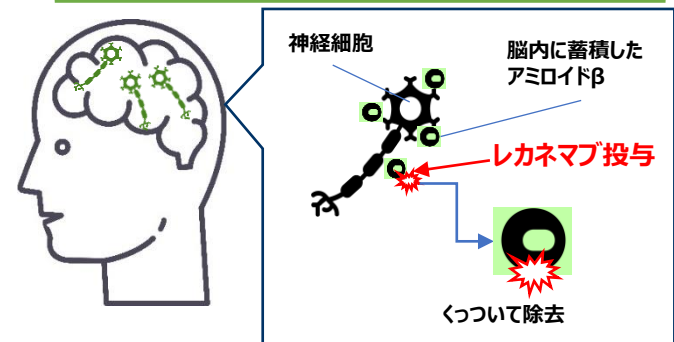


バイオ医薬品をめぐる最近の動向（認知症や肥満症など）

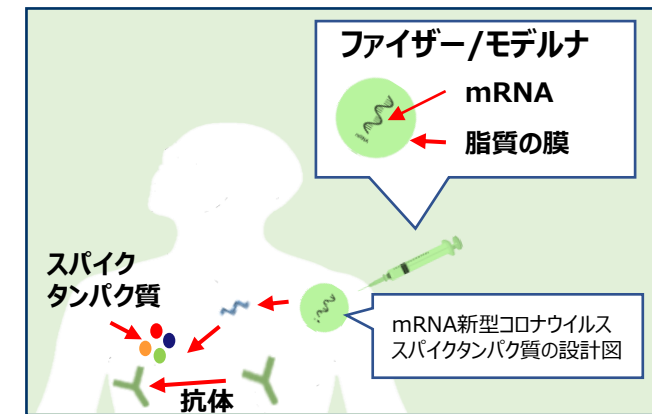


- 認知症（アルツハイマー型認知症）の原因物質（アミロイドβ）を除去するバイオ医薬品です。抗体の働きで脳内に存在するアミロイドβに結合して減らす作用を持っています。
レカネマブ 商品名：LEQEMBI（エーザイとバイオジェン）など
- 肥満症を適応としたGLP-1受容体作動薬が2023年1月に日本で承認されました。2型糖尿病治療薬として既に使用されているオゼンピックと同成分です。
セマグルチド 商品名：ウゴービ（ノボ ノルディスク）
- mRNA（メッセンジャーRNA）を用いたワクチンは、ウイルスの表面にあるスパイクタンパク質の遺伝情報を含んだmRNAをヒトの体内に投与し、抗体を作ります。
新型コロナウイルスワクチンで注目されましたが、新たにmRNAによるインフルエンザワクチンの開発も始まっています。

認知症にレカネマブが作用する仕組み

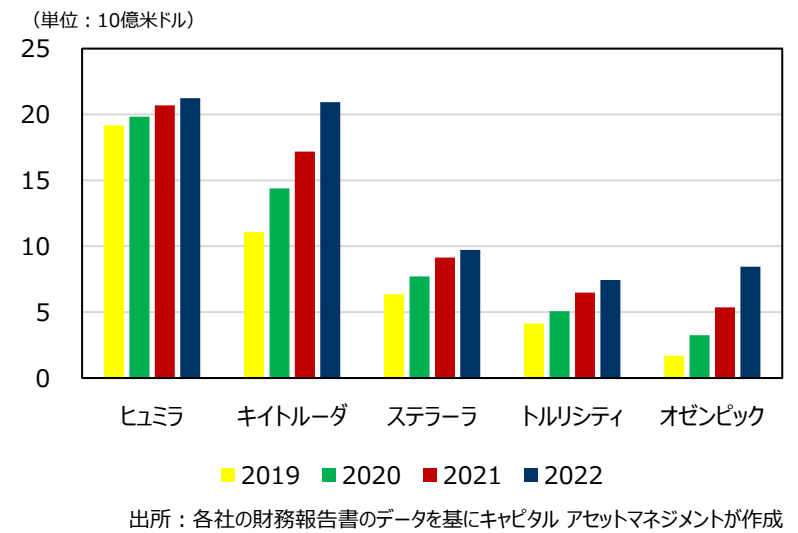


新型コロナワクチンが作用する仕組み



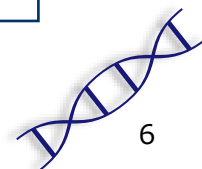
- 個別銘柄コード
 エーザイ (4523)
 バイオジェン (BIIB)
 ノボ ノルディスク (NVO)
 アッヴィ (ABBV)
 ファイザー (PFE) モデルナ (MRNA)

代表的なバイオ医薬品売上高



ヒュミラは、日本、中国、ブラジル、オーストラリアなど世界中の市場で販売されており、2022年のアッヴィの売上高の約37%を占めています。

* 上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。





セクトラル アセットマネジメント社

- カナダのモントリオールを本拠に2000年に設立され、23年の歴史・実績を持つ、バイオテックを含むヘルスケア投資の独立系プライベート運用会社です。
- スイスのピクテ社においてヘルスケア・セクターのファンド運用に永らく携わってきた2名（Jérôme Pfund氏とMichael Sjöström氏）により設立。
- 各国の政府系ファンド、ファミリーオフィス、機関投資家など幅広い顧客ベースを持っています。
- 1994年来の長期のトラックレコードがあり、良好なパフォーマンスを誇ります。
- バイオ医薬関連企業の調査には多くの知見やネットワークを持つ専門的な運用担当者が必要であるが、当社のプロフェッショナルには自然科学分野と経済学分野の学位などを併せ持つ人材も多いです。
- プライベートエクイティ・チームを擁することから、幅広い市場の動きや最新動向に対する洞察力を有します。
- 運用資産残高は7.52億米ドル（約999億円、1米ドル=132.70円にて換算）、社員数は33名（内ファンドマネージャー及びアナリストが15名）です。スイス・ジュネーブと香港に拠点があります。（2022年12月末）

Mina Marmor, Ph.D., CFA シニア・ポートフォリオマネジャー

- 2001年、トロント大学で免疫学博士号取得
- その後、米国ニューヨークのヘルス・サイエンス・コミュニケーションズにてアソシエイト・メディカル ディレクター
また、細胞シグナル伝達と腫瘍学の分野で博士研究員として従事
- 2006年、セクトラル アセットマネジメントに入社
バイオテック戦略のポートフォリオマネジャー



Paulina Niewiadomska, CFA シニア・アナリスト

- 分子生物学修士号、経営学修士号取得

Wayne Mah, CFA アナリスト

- 応用化学学士号、経営学修士号取得



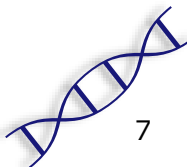
QRコード



セクトラルアセットマネジメント社 HP

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

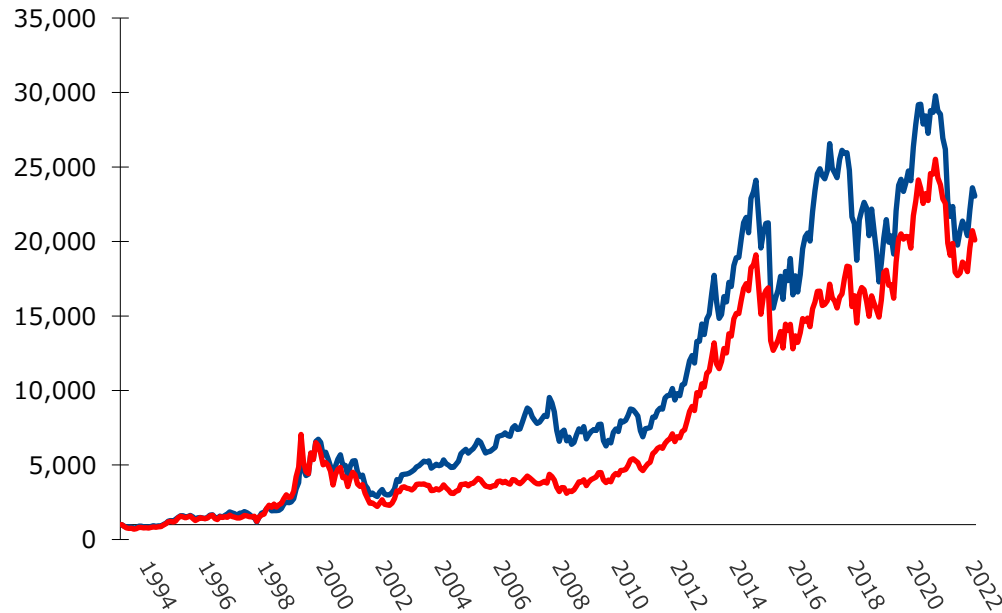


セクトラル社 運用実績のご紹介 (2022年12月末)



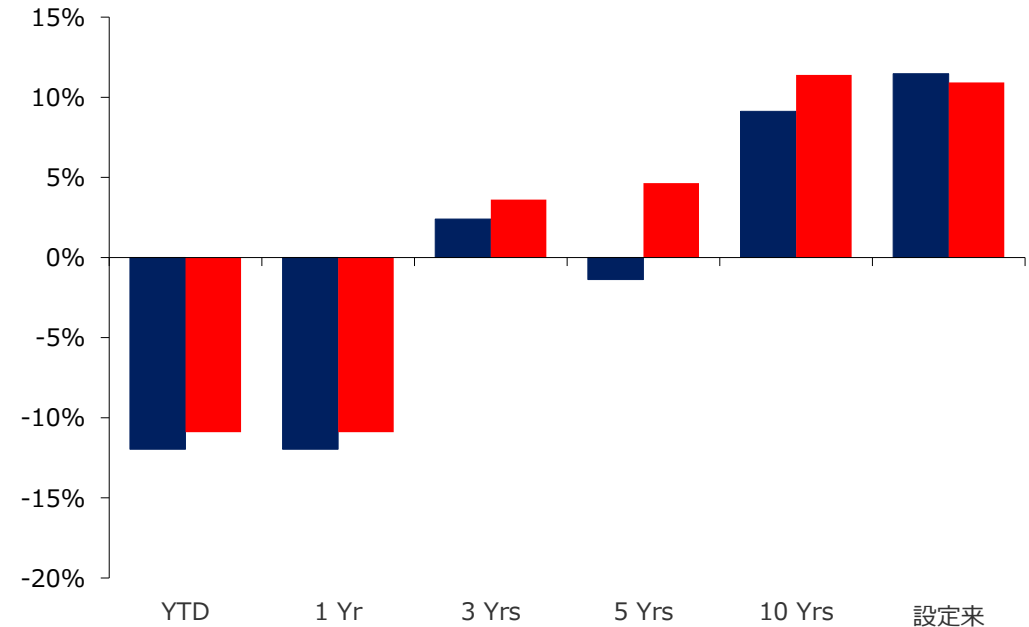
<運用実績>

(1,000米ドル基準)



— バイオテクノロジーコンポジット(NET) — Nasdaq Biotechnology Index

<収益 (年率)>



■ バイオテクノロジーコンポジット(NET) ■ Nasdaq Biotechnology Index

運用実績は、セクトラル社の運用報酬を差し引いたものです。

バイオテクノロジーコンポジットは1994年2月末、グローバル・バイオテック株式の機関投資家向け投資一任ロング・マンデートの全ポートフォリオから算出しています。

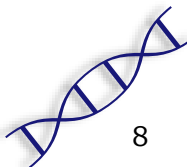
1994年2月から2000年10月までの他社で管理されていたアカウントを含みます。

上記データはセクトラル社が運用するファンドの過去の実績をご紹介しますもので、当ファンドは上記ファンドとは異なります。

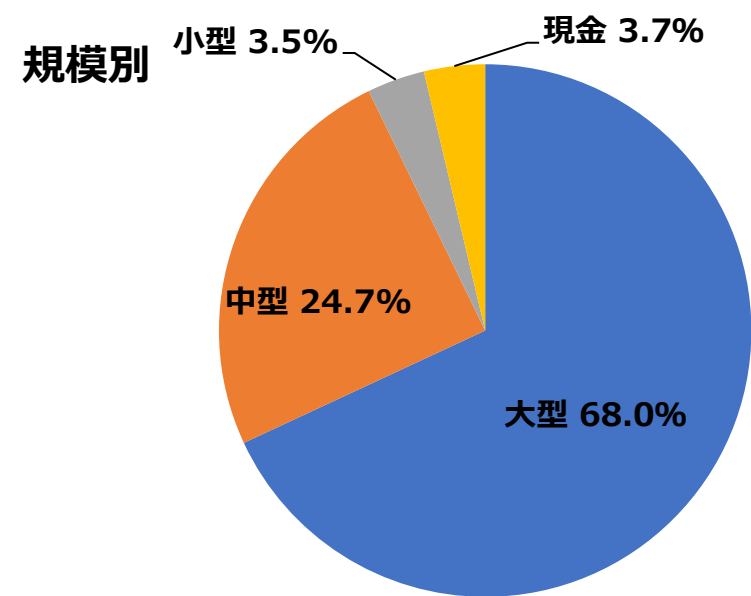
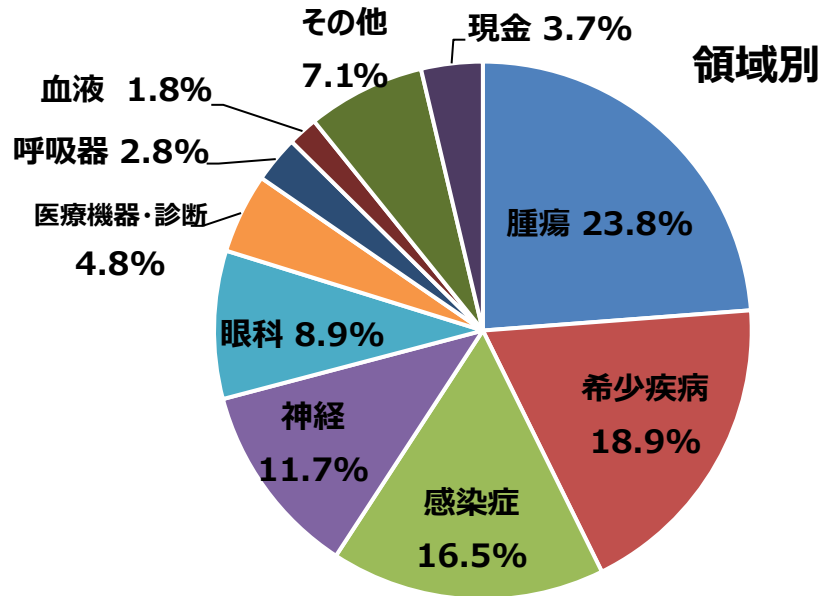
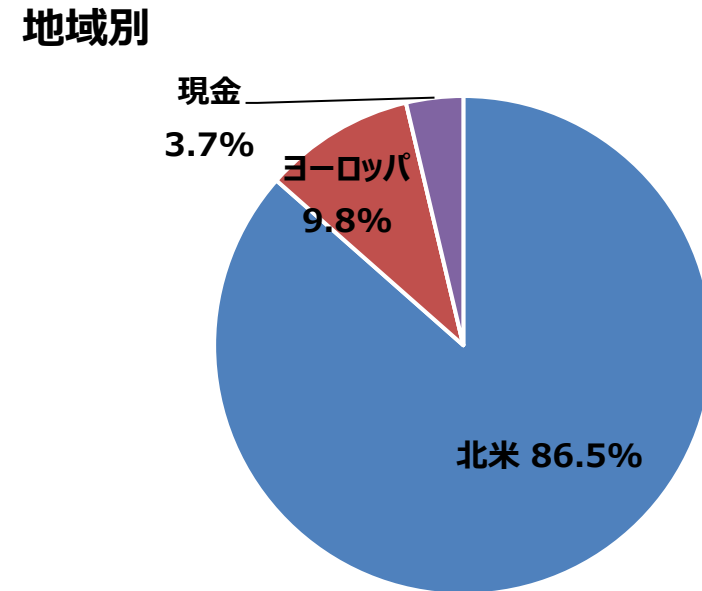
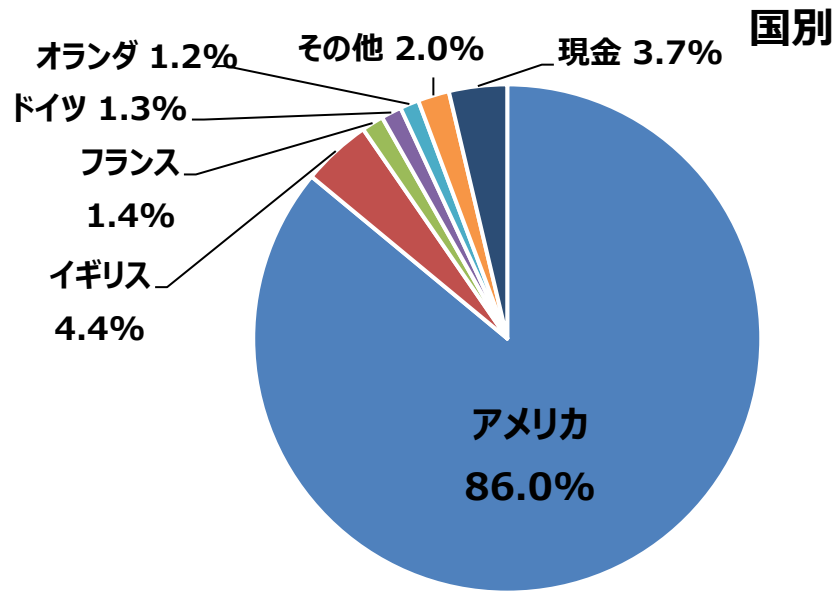
出所：Sectoralのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成、2022年12月末

* 上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

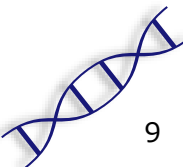


セクトラル バイোটექ・オポチュニティーズ・ファンド（2022年12月末）



上記データはセクトラル社が運用するファンドの過去の実績をご紹介するもので、当ファンドは上記ファンドとは異なります。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

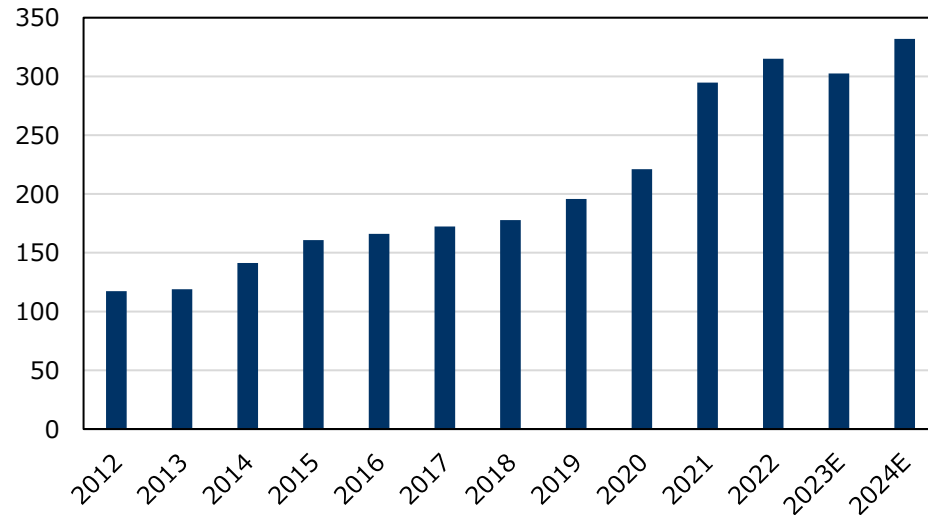




- 世界景気の変動に左右されにくく、安定的な成長が見込まれます。
- 米国FDA（食品医薬品局）の新薬承認促進制度などにより、新薬承認は迅速化かつ増加の傾向がみられます。
- 成長が見込まれるバイオ医薬関連企業を取り巻くM&A（合併・買収）の動向に期待が高まっています。
- 医薬品市場において、競争が厳しい一般医薬品（低分子医薬品）と比べて、参入障壁が高いバイオ医薬品の伸びは著しく、市場の牽引役となっています。
- 一般医薬品は特許期限切れに伴う後発医薬品（ジェネリック）との競争に晒されやすい一方、バイオ医薬品はバイオシミラー（バイオ後続品）との競争は限定的で、相対的に薬価下落の影響は受けにくいといえます。

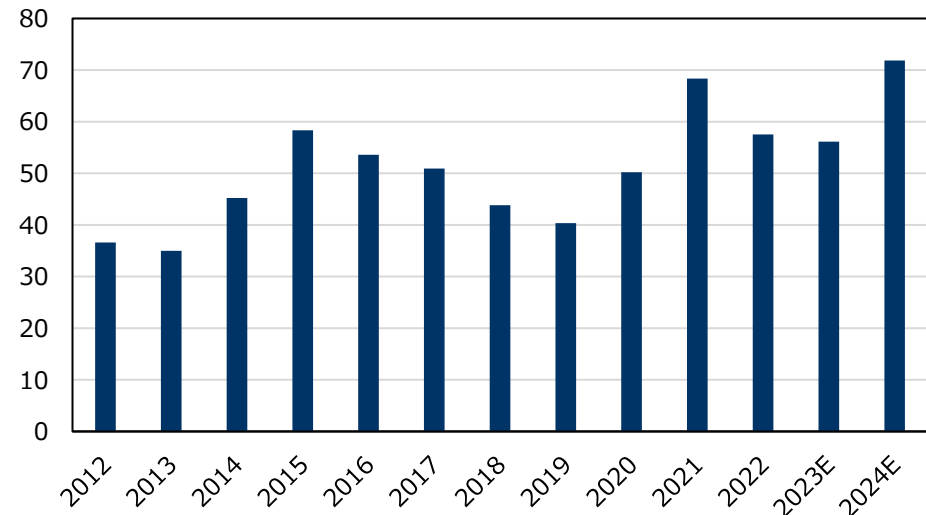
<バイオ医薬関連企業の売上高推移>

（単位：10億米ドル）



<バイオ医薬関連企業のEBITDA推移>

（単位：10億米ドル）

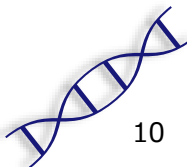


出所：Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成、2023年4月

※ バイオ医薬関連企業：ナスダック・バイオテクノロジー指数構成銘柄

* 上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。





最近のM&Aの動向（過去1年）

今後も、バイオ医薬関連企業のM&Aは活発に行われることが見込まれます。

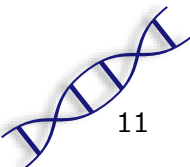
2015年1月以降、合計8,640億米ドル以上の買収が行われ、プレミアムの平均は68%でした。

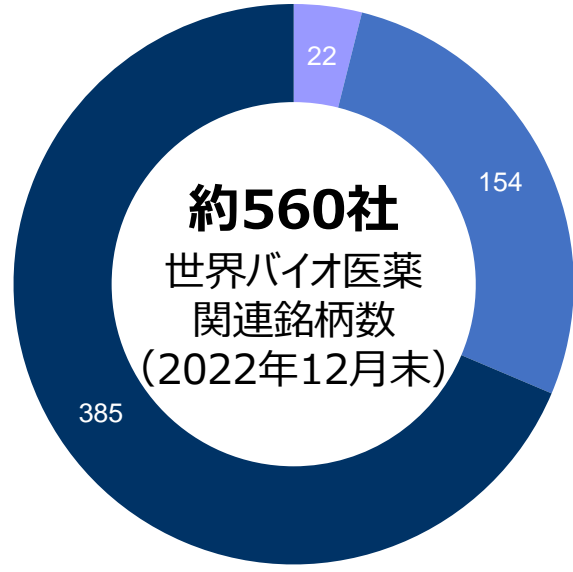
ファイザーは2023年3月中旬、ADC技術に強みを持つ米シージェンを430億米ドルで買収すると発表。取引金額は過去最大で、成長への期待が高まります。

買収企業	買収企業の時価総額 (2023年3月末時点、 百万米ドル)	被買収企業	買収日	取引金額 (百万米ドル)	プレミアム
ファイザー	230,292	シージェン	2023年3月	43,000	42%
サノフィ	137,238	プロベンション	2023年3月	2,900	273%
ウオーターズ	18,251	ワイアット・テクノロジーズ	2023年2月	1,360	n/a
サン・ファーマ	28,721	コンサート・ファーマ	2023年1月	576	16%
イブセン	9,246	アルビレオ	2023年1月	952	104%
アストラゼネカ	215,148	シンコア	2023年1月	1,300	121%
キエシ	n/a	アムリット	2023年1月	1,250	107%
アムジェン	129,089	ホライゾン・セラピューティクス	2022年12月	27,800	48%
武田薬品工業	51,841	ニバス・セラピューティクス	2022年12月	4,000	n/a
メルク	270,081	イマゴ・バイオスクエア	2022年11月	1,350	107%
バイトリス	11,513	オイスター・ポイント	2022年11月	415	32%
LG化学	38,549	アベオ	2022年10月	566	43%
イーライリリー	326,351	アクオス・バイオ	2022年10月	487	78%
スミトバント	n/a	マイオバント	2022年10月	2,900	50%
ノボ・ノルディスク	362,839	フォーマ・セラピューティクス	2022年9月	1,100	49%
アルコン	34,571	エアリー・ファーマ	2022年8月	770	37%
ファイザー	230,292	グローバル・ブラッド	2022年8月	5,400	102%
アムジェン	129,089	ケモセントリックス	2022年8月	4,000	116%
ギリアド・サイエンシズ	103,614	マイロバイオ	2022年8月	405	n/a
カタレント	11,834	アクワイア・メトリックス	2022年8月	475	n/a
ザルトリウス	28,656	アルバメディックス	2022年8月	502	n/a
SDバイオセンサー	1,690	メリディアン・バイオサイエンス	2022年7月	1,530	32%
バーテックス	81,002	バイアサイト	2022年7月	320	n/a
ガーネット・ポイント	n/a	レイディアス・ヘルス	2022年6月	890	12%
プリストル・マイヤーズ	145,466	ターニング・ポイント	2022年6月	4,100	122%
オプコ・ヘルス	1,128	モデックス	2022年5月	300	n/a
グラクソ・スミスクライン	72,849	アフィニバックス	2022年5月	2,100	n/a
ファイザー	230,292	バイオハイブ	2022年5月	11,600	79%
アルキメド	n/a	ネイタスメディカル	2022年4月	1,200	n/a
グラクソ・スミスクライン	72,849	シエラ・オンコロジー	2022年4月	1,900	39%
ハロザイム	5,172	アンタレス	2022年4月	960	50%
				平均値	75.4%
				中央値	50.0%

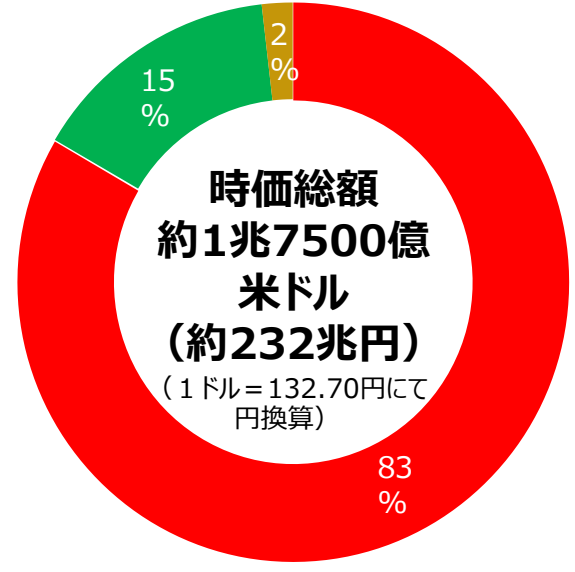
2023年3月15日、開示された条件で3億米ドル以上の買収。
出所：企業報告書

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

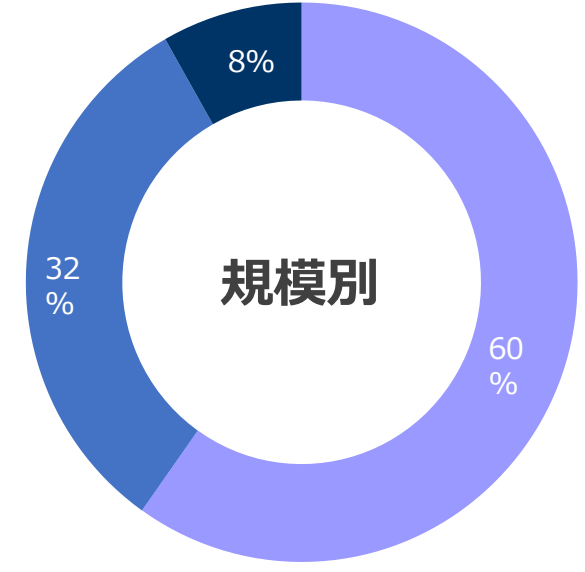




■ 小型 (10億米ドル以下) ■ 中型 (10億~150億米ドル) ■ 大型 (150億米ドル以上)



■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア・パシフィック

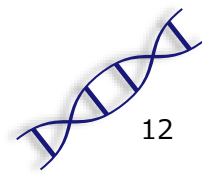


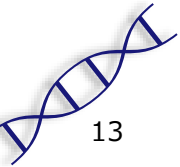
■ 小型 (10億米ドル以下) ■ 中型 (10億~150億米ドル) ■ 大型 (150億米ドル以上)

出所：Sectoralのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成、2022年12月末

世界バイオ医薬関連銘柄は約1,080社ありますが、時価総額1億米ドル未満を除いたものを投資対象としています。

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。





銘柄紹介(1)

バイオマリン (BMRN)

希少疾患のリーディングカンパニー

特徴

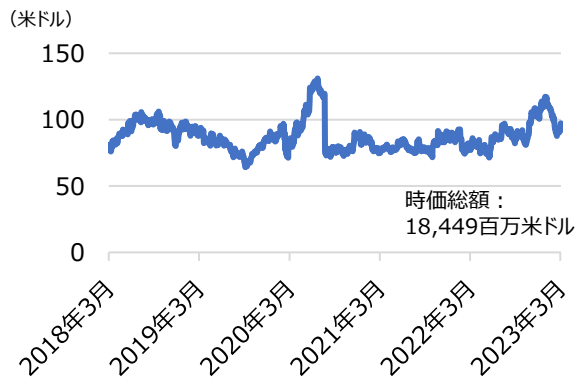
バイオマリンは、多数の希少疾患向けの製品ポートフォリオを持ち、2022年には20億米ドル以上の売り上げを誇ります。最近承認された軟骨無形成症、小人症のVoxgovoも含まれ、順調に売り上げを伸ばしており、ブロックバスター*の可能性を秘めています。

さらに、血友病A向けの遺伝子治療薬であるRoctavianは、最近ヨーロッパで承認され、FDAでは現在審査中です。

バイオマリンの新製品は、売上と利益の加速が見込まれ、株価の上昇に大きく寄与することが見込まれます。

* ブロックバスターとは、圧倒的な売上高を誇る医薬品のこと。年商10億米ドル以上の製品を指すことが多いです。

株価推移 (2018年3月末~2023年3月末)



アルナイラム (ALNY)

RNAiプラットフォームに強み

特徴

アルナイラムは、RNAi*治療におけるリーディング企業です。2002年の創業以来、化学合成や伝達技術の分野で研究を重ね、ノーベル賞受賞の成果を創薬につなげています。

この投資の成果として、最近では5番目のRNAi薬剤がFDAの承認を受けるなど、ポートフォリオ成熟化に結びつけています。

疾患の遺伝子ドライバーを標的とすることで、共通の技術を活用し、業界平均よりもはるかに高い臨床開発成功率を達成し、今後の成長に向けて取り組んでいます。

* RNAiとは、特定の遺伝子機能の発現をブロックする技術の1つです。二本鎖RNAにはmRNAの相同部分を切断する作用があり、標的遺伝子の働きを抑えることで治療に結び付くと期待されます。

株価推移 (2018年3月末~2023年3月末)



アムジェン (AMGN)

安定した収益基盤

特徴

アムジェンは、幅広い製品ポートフォリオを持ち、堅実な成長を遂げてキャッシュフローを創出しています。

一部の製品が特許期間満了を迎えますが、安定した収益基盤、新製品サイクル、バイオシマラーへの取り組みなどバイオに注力し、配当を含む資本配分戦略を厳格に実行しています。

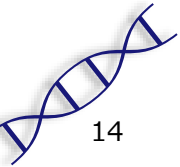
また、ChemoCentryx社およびHorizon社の買収を受けた、肥満治療のパイプライン・プログラムや希少疾患向け製品の獲得により投資家の大きな関心を集めています。

株価推移 (2018年3月末~2023年3月末)



* 上記銘柄は個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドの組み入れを保証するものではありません。

* 上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。



銘柄紹介(2)

アイコン (ICLR)

世界をリードするCRO（開発業務受託機関） - R&D（研究開発）に広く関与

アイコンは、医療分野全般において次世代の治療法の加速度的な進展を可能にします。

R&D（研究開発）の効率化を推進し、専門人材の提供を迅速化することにより、価値を創造します。

取り組みの例：

- 分散型臨床試験
- 研究における多様性・公平性・包括性
- データに基づく意思決定を強化させるデジタルエンドポイント（デバイス、センサー）

特徴

株価推移（2018年3月末～2023年3月末）



アミクス (AMLX)

筋萎縮性側索硬化症（ALS）向け新薬のグローバル展開

アミクスは、米国およびカナダの規制当局から筋萎縮性側索硬化症（ALS）向けに「Relyvrio」「Albrioza」の承認を受けました。

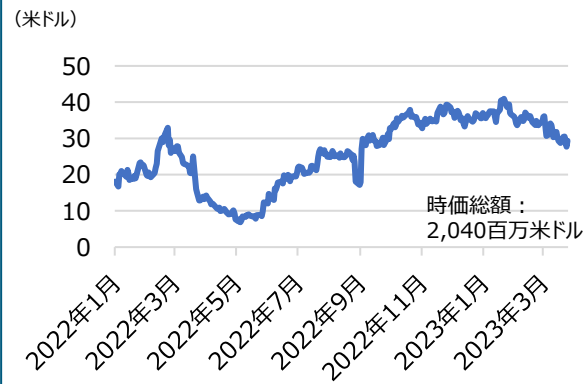
この併用療法は、この疾患において身体機能と延命の両方に効果を示した初めての治療法です。ALSは未だ有効な治療法がなく、多くの医療ニーズがあります。

発売当初からこの医薬品に対する需要は非常に強く、グローバルに承認を得ることでブロックバスターとなる潜在能力が期待されます。

2022年1月に新規株式公開されました。

特徴

株価推移（2022年1月～2023年3月末）



バイオジェン (BIIB)

成長軌道回帰を目指す神経科学のリーディングカンパニー

バイオジェンは、主力であるインターフェロンを含む多発性硬化症の治療薬群の売上が減少し、アルツハイマー型認知症薬である「Aduhelm」では市場浸透に失敗しました。

しかし、バイオジェンは新薬による成長に向けた転換点を迎えており、著しい価値創出のポテンシャルがあると考えられます。その1つは2023年1月にイーザイとの共同開発第二弾でFDAからの迅速承認を受けたアルツハイマー型認知症向け抗体医薬である「Leqembi」（レカネマブ）です。

さらに、うつ病向けの良好な臨床試験データを得た「zuranolone」のほか、パーキンソン病や脳卒中など神経疾患領域における充実した新薬候補による成長に向けた取り組みが期待されます。

特徴

株価推移（2018年3月末～2023年3月末）



* 上記銘柄は個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドの組み入れを保証するものではありません。

* 上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。



一般医薬品（低分子医薬品）

- 段階的な化学合成の工程を経て生産される医薬品です。これらは分子が小さく、ごく少数の機能的な分子グループを含む比較的単純な構造をした有機化合物です。
- 大量生産が可能で薬価は比較的安価です。
- 剤形は、錠剤や液剤など多様です。
- 分子量500以下の医薬品が低分子医薬品と呼ばれることが一般的です。

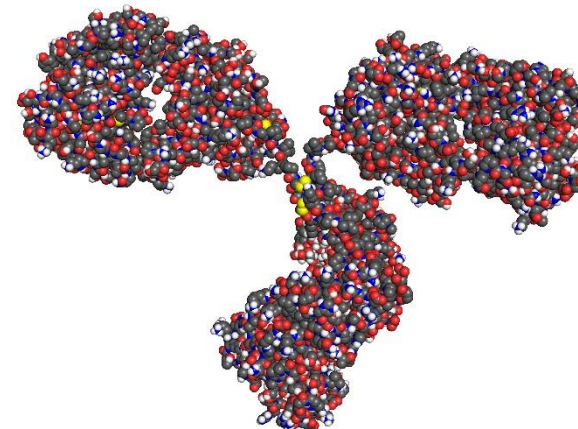
<低分子医薬品であるアスピリンの構造式（分子量180）>



バイオ医薬品（高分子医薬品）

- 有効成分がタンパク質由来（成長ホルモン、インスリン、抗体など）、生物由来の物質（細胞、ウイルス、バクテリアなど）により産生される医薬品です。
- 化学合成の低分子医薬品に比べて分子が大きく、構造が複雑であり、製造工程によって微小な変化が生じるため、一般医薬品よりも厳格な規制が課され、薬価は高額です。
- 剤形は主に注射剤です。
- 分子量は数千から約15万程度が一般的です。

<抗体医薬品のイメージ図>



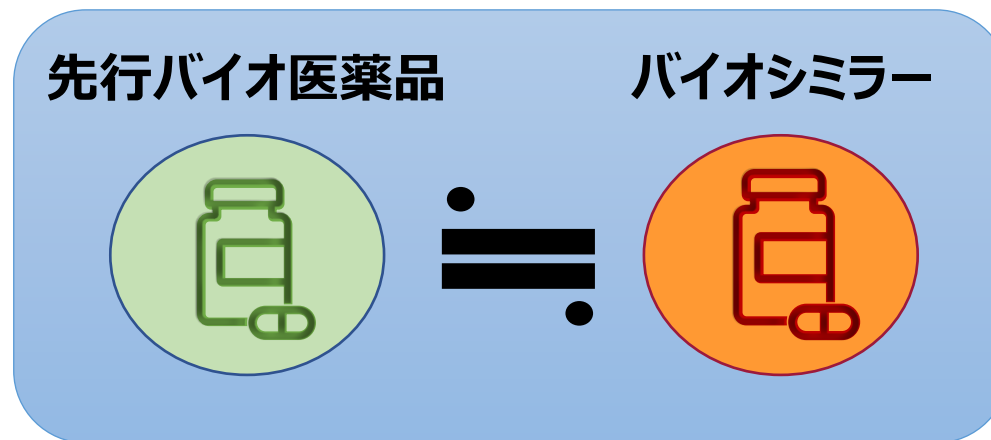
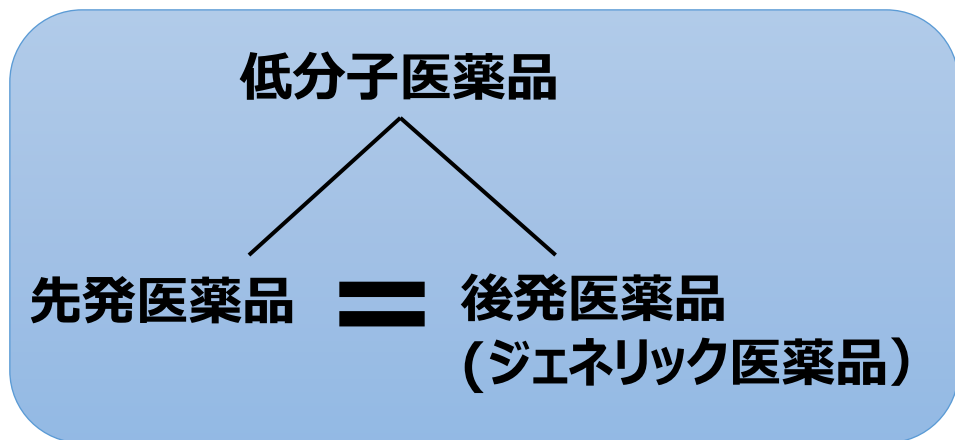


ジェネリック（後発医薬品）

- 後発医薬品は、有効成分、用法・用量、効能・効果、投与経路、安全性、適応症に関して、先行の化学合成の低分子医薬品と同一です。
- 先行品の知的財産（例えば、特許やデータ保護）の期限が切れた後、だれでも後発医薬品を製造・販売することができ、比較的安価に製造できるため広く普及しています。

バイオシミラー（バイオ後続品）

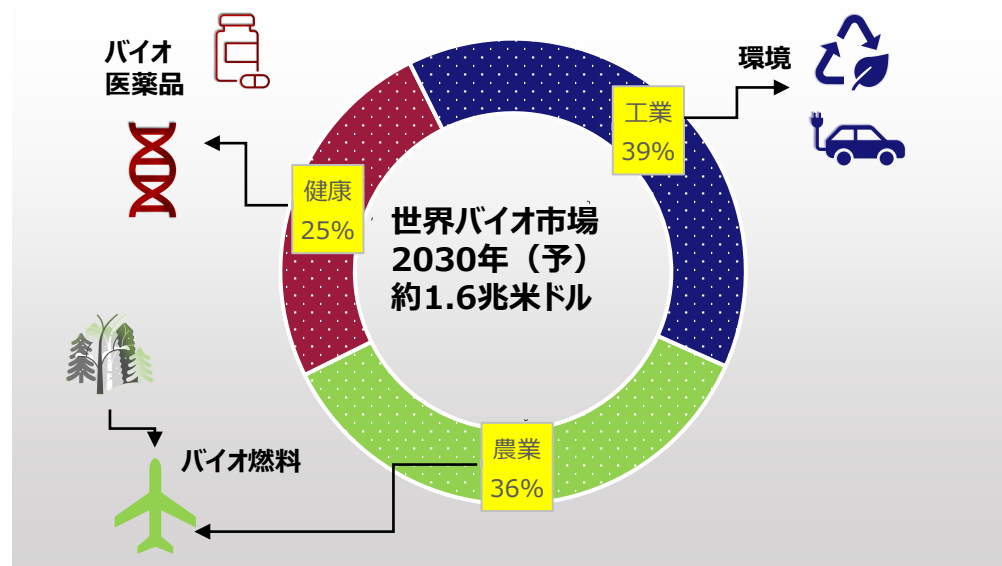
- 先行のバイオ医薬品と「同等／同質」の品質、安全性、有効性を有しています。
- 「同等性／同質性」とは、先行バイオ医薬品に対して、バイオ後続品の品質特性がまったく同一であることを意味するのではなく、品質特性において類似性が高く、かつ、品質特性に何らかの差異があったとしても、最終製品の安全性や有効性に有害な影響を及ぼさないと科学的に判断できることを意味します。
- 「類似」という意味の「シミラー」という言葉を使ってバイオシミラーと呼ばれます。



<ご参考> バイオテクノロジーに対する期待



バイオエコノミー(Bioeconomy)という概念が国際的に提唱されています。OECD(経済協力開発機構)の予測では、2030年のバイオ市場はGDPの2.7%(約200兆円)に成長し、約4分の1を健康分野が占める見込みです。



出所: OECDのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

「バイオ燃料」

- 生物体(バイオマス)を利用した燃料のことを指します。航空機、自動車、船舶など幅広い機械の燃料として使われます。バイオ燃料は、地球温暖化問題によるCO2削減要請の高まりから石油燃料の代替物として注目されています。従来はサトウキビやトウモロコシを原料としてバイオエタノールを製造していましたが、最近では藻類、古紙・古着、おが屑、糞などの廃棄物に含まれる有機物を分解して製造されるなど、技術が進歩しています。

バイオテクノロジー

「Biology(生物学)」と「Technology(技術)」の合成語

- 広義では、生物の持っている働きを人々の暮らしに役立てる技術です。醸造・発酵の分野から、農作物の品種改良、再生医学や創薬など様々な技術を包括する言葉で、栄養学、農学、生物学、薬学、医学、理学、工学などと密接に関連します。

「バイオ医薬品」

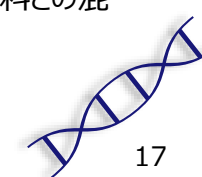
- バイオテクノロジーを用いて開発され、これまで治療が困難であった分野で画期的な成果を示しています。また、遺伝子解析技術の飛躍的な高まりにより、新薬の研究が日々進展しています。例えば、ヒト細胞や動物細胞から得られるタンパク質や抗体などを利用して、がんや免疫疾患、代謝性疾患などの治療に用いられます。高い効果や少ない副作用が期待されます。

「環境」

- 「サーキュラーエコノミー」と「バイオエコノミー」の合成語である「サーキュラー・バイオエコノミー」とは、自然と調和しながら私たち人間も豊かになれる持続可能な経済のことを指します。サーキュラーエコノミー(循環型共生経済)は、これまでの大量生産・大量消費ではなく、資源を循環させることで地球への負荷を軽減し、バイオエコノミーは生物の力を借りながら自然と共生する経済を目指しています。

バイオマス発電は生物体(バイオマス)を燃料として発電することを指します。有機物を燃焼させてタービンを回転させ発電するものであり、既存の火力発電所に並列して建設されることもあり、石炭などの化石燃料との混焼も行われます。

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。



ファンドの目的・特色



ファンドの目的

当ファンドは、主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

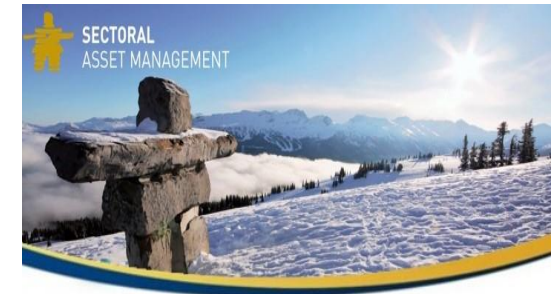
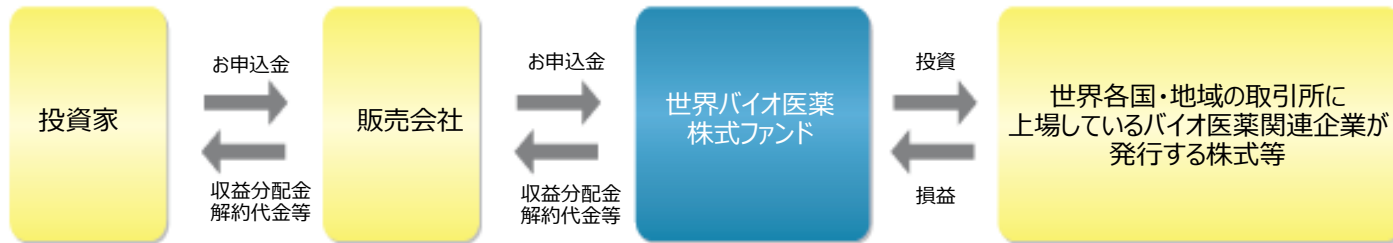
ファンドの特色

成長性の高いバイオ医薬関連企業が発行する株式等への投資

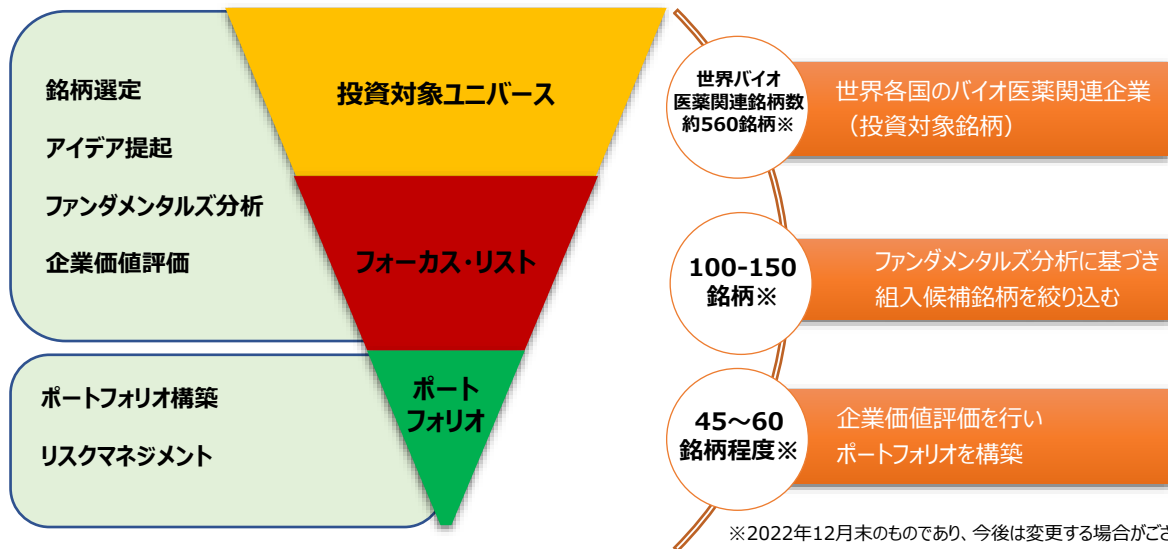
技術革新を受けて先進医療分野が成長するなか、バイオ医薬関連企業の成長が期待できます。

- ◆ 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ◆ 銘柄選定にあたっては、カナダの運用会社であるセクトラルアセットマネジメントのアドバイスを受けます。

<ファンドの仕組み>



ポートフォリオ構築プロセス

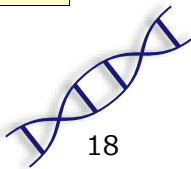


<セクトラル アセットマネジメント>

カナダのモントリオールに本拠を置く独立系のプライベート運用会社
 バイオテックを含むヘルスケア投資のエキスパート
 ピクテ社でヘルスケア投資に携わってきた2名の出身者が設立

- 2000年設立、スイス・ジュネーブと香港に拠点
- 運用資産残高約7.52億米ドル
- 社員数33名、内ファンドマネージャー及びアナリストが15名 (2022年12月末)

*上記データは過去の実績および現時点での予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。





当ファンドは、世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等値動きのある有価証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。当ファンドに生じた利益および損失は、すべて投資家の皆様に帰属することになります。投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により変動することが想定されます。

■株式の価格変動リスク

当ファンドは、主に海外の株式等に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

■為替変動リスク

当ファンドは、主に外貨建ての株式等に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

■カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■信用リスク

株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

■流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

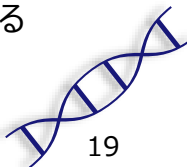
■解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

その他の留意点

※当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

※当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付が中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。





手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	当初申込期間：1口あたり1円 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入申込期間	当初申込期間：2023年5月15日から2023年5月29日まで 継続申込期間：2023年5月30日から2024年7月26日まで ※継続申込期間は上記の期間終了前に、有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から0.3%（信託財産留保額）を控除した価額となります。
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して7営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨークの証券取引所または銀行の休業日には、お申込みの受付を行いません。
信託期間	2023年5月30日（設定日）から無期限。
決算日	原則として4月26日及び10月26日（休業日の場合は翌営業日）。
収益分配	年2回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、作成基準日の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

ご購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜3.0%） を上限として、販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

ファンドの純資産総額に対し、**年1.925%（税抜1.75%）**の率を乗じた金額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計算され、ファンドの各計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。

$$\text{信託報酬} = \text{運用期間中の基準価額} \times \text{信託報酬率}$$

【運用管理費用（信託報酬）の配分】

内訳	料率(税抜)	費用の内容
委託会社	年1.00%	委託した資金の運用の対価
販売会社	年0.70%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

※上記の各支払先の料率には別途消費税等相当額がかかります。

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

その他費用

※その他の費用・手数料は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ファンドの費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

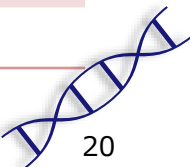
<委託会社> キャピタル アセットマネジメント株式会社

<受託会社> 三井住友信託銀行株式会社

<販売会社> 表紙に記載の販売会社をご覧ください。

詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。目論見書については販売会社にお問い合わせ下さい。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。





収益分配に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

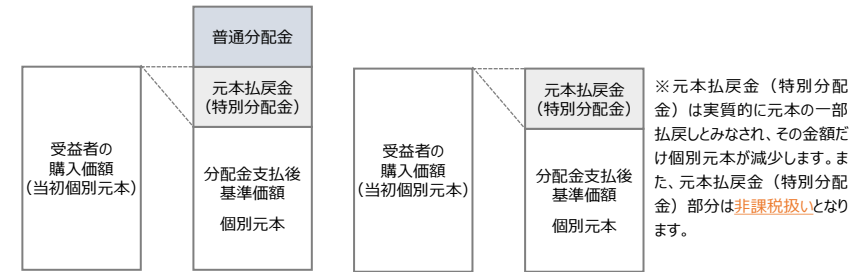
投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

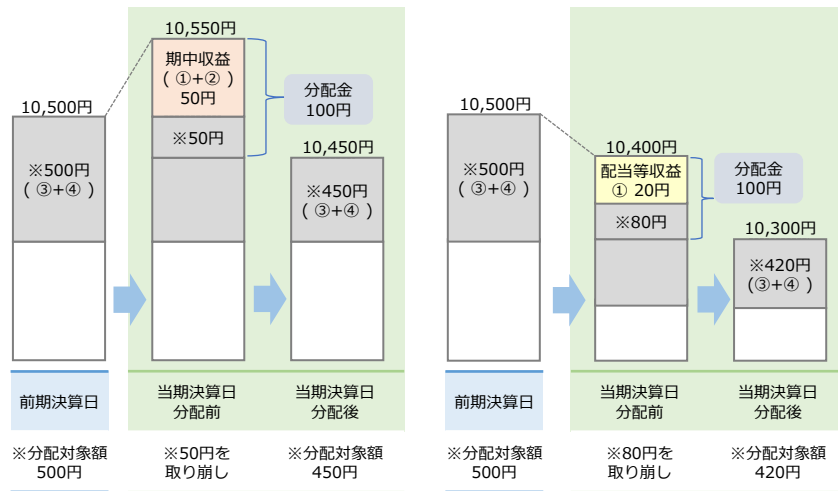
分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

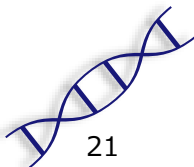
普通分配金 個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金） 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「手続・手数料等」の税金をご参照ください。

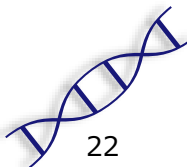
※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。





1. 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
2. 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは示唆するものではありません。
3. 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、作成基準日現在で信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
4. 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。
5. 投資信託は、値動きのある証券等（外貨建て資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
6. 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
7. 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
8. 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
9. 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。



委託会社の問合せ先

キャピタル アセットマネジメント株式会社

ホームページ <http://www.capital-am.co.jp/>

電話番号 03-5259-7401 (毎営業日 9:00~17:00)